

環境活動団体ガイドブック

～水戸市環境フェア 2021～



わたしは変わる, あなたも変わる, みとが変わる。





はじめに

水戸市環境フェアは、環境月間である6月に、水と緑を育み、豊かで良好な環境を次の世代に引き継ぐため、事業者・環境保全国体・消費者団体及び行政が一体となり、地球環境や環境保全に対する市民等の意識の高揚を図ることを目的に、水戸市環境フェア実行委員会が、企画・運営・周知を行い、開催しております。



水戸市環境フェア2019では、「くらしからはじめるエコシティみと」をテーマに、千波公園ふれあい広場にて、ステージショーや劇、各団体が工夫を凝らした出展ブース、フリーマーケットなど、たくさんの楽しいイベントを開催し、およそ10,000人の方にご来場いただきました。

しかしながら、水戸市環境フェア2020は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から全ての催しを中止とさせていただきます。また、水戸市環境フェア2021については、ブース出展は中止とし、「ホテルを観察しよう」、「ピオトープを作ろう」、「こどもムシムシ探検とオオキンケイギク除去」、「外来種を調べよう」の、ソーシャルディスタンスが広く保てる4つの屋外型環境学習会のみ、感染対策を講じて開催しました。

このように、2020年、2021年は、メインイベントについて中止を余儀なくされたところであり、環境、ごみ、消費者問題等に関する活動に取り組んでくださっている多くの市民団体や企業を、皆様に知っていただく機会が失われてしまいました。このため、水戸市環境フェア実行委員会では、これら出展いただく予定であった団体の取組を紹介するガイドブックを作成することにいたしました。

ガイドブックのテーマは、「わたしは変わる、あなたも変わる、みとが変わる。」です。私たちの日々の小さな活動の積み重ねによって、周囲や地域が変わり、水戸が変わっていきます。このガイドブックを、多くの方に手に取ってもらい、地球環境問題等を考え、日々の生活や活動を見つめ直すきっかけにいただければ幸いです。

次年度は新型コロナウイルス感染症が収束し、新たなステージに向かっていくためにも、皆様方とともに水戸市環境フェアが開催できることを願っております。



水戸市環境フェア実行委員会
委員長 猿田 寛

団体紹介

日々、環境、ごみ、消費者問題等について
考え、活動されている市民団体や企業等は
あなたの周りにたくさんあります。
そんな活動の一部を紹介します。

凡例：

団体名	
写真	活動内容
PR欄	QRコード

(50音順)

① アダストリア・茨城ロボッツ



回収した素材を使用し製作した「アダストリア×茨城ロボッツ コラボマスク」が来場者全員に配布されました。

株式会社茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメントでは、オフィシャルスポンサーである株式会社アダストリア様が推進するリサイクルへの取組「PlayCycle!」に、#25平尾充庸選手が公認アンバサダーとなり活動協力をしております。

「PlayCycle!」は不要になった衣料品を回収し、新しい資源にリサイクルする取組です。

2021年1月23日(土)・24日(日)に開催した茨城ロボッツのホームゲームでは、2日間で約280kgの衣料品を回収しました。



② 有限会社 アルファサービス



環境にやさしく、
水辺のあらゆるニーズに
お応えいたします。



日本の水辺の環境は、外来種の巣窟となっています。当社では水辺の環境を守るため、様々な取組をしています。

1 特定外来水草の駆除

日本に1台しかないコンバーという重機で根こそぎ駆除しています。

2 湖沼に発生するアオコの処理

当社が開発したアオコ処理装置で、アオコを効率よく処理します。処理されたアオコは動物性プランクトンなどの餌や、肥料に生まれ変わります。



③ 株式会社 いばらき環境改善



ため池や工場内の排水ピットの
浄化などお気軽に
ご相談ください！



私たち株式会社いばらき環境改善は、主に自然環境や工業排水の浄化を行っています。

水戸市内におきましては、2017年、2018年の2年間、千波湖においてアオコの発生・集積及び悪臭防止を目的として、環境にやさしい手段を用いたアオコ抑制対策装置の設置及び運転を行いました。また、逆川こどもエコクラブなど環境団体にも所属し、環境ボランティア活動、子どもたちの環境学習の場にも積極的に参加させていただいております。



④ 一般社団法人 茨城県環境管理協会



千波湖環境学習会の
開催日等については、
当協会HPをご覧ください。



当協会は水戸市との協働事業として、身近な自然環境を守る大切さを学ぶ「千波湖環境学習会」を開催しています。毎年10回程度、千波湖周辺での水生生物や昆虫、野鳥の観察や、サケの卵の調査とふ化した稚魚の放流、千波湖の水質浄化と水生生物の住処を取り戻し、豊かな水辺環境の再生を行う「千波湖市民ビオトーププロジェクト」を行っています。毎回、定員をオーバーするような参加があり、好評をいただいている学習会となっています。



⑤ 公益社団法人 茨城県水質保全協会 県央支部



各地で行われている環境展等に積極的に参加し、浄化槽の普及啓発や法定検査の受検促進に努めています。

私たちの生活に欠かすことができない水。当協会ではそんな水をきれいに保つため、事業所や家庭に設置されている浄化槽の法定検査を実施しています。

浄化槽の役割は生活排水を適切に処理し川や湖に戻すことです。

茨城県水質保全協会は会員一丸となって「浄化槽できれいな水を自然に返そう」を合言葉に、郷土茨城の豊かな水環境の保全と快適な生活環境の向上に努めています。



⑥ 茨城県地球温暖化防止活動推進センター



「うちエコ診断」を受診希望の方はご連絡ください。



地球温暖化防止活動の1つとして「うちエコ診断」を実施しています。「うちエコ診断」とは、ご家庭の年間エネルギー使用量や光熱費などの情報をもとに、環境省認定の「うちエコ診断士」が専用ソフトを用いて、ライフスタイルに合わせて無理なくできる省CO₂・省エネ対策を複数ご提案した中から選んでいただき、エコでお財布にも優しい生活を送っていただく診断です。診断は、対面やインターネット回線利用のリモート診断があります。



⑦ いばらきコープ生活協同組合

■ 〇いばらきコープ 環境活動の取り組み〇 ■



コープデリ店舗 水戸店
(リサイクル 回収ボックス)

コープデリ宅配 水戸センター
(太陽光発電設備)



いばらきコープは、「環境に配慮したくらし」と「持続可能な循環型社会の実現」を目指して、コープデリグループの共通の理念とビジョンのもと、店舗・宅配における商品の供給や、取り扱う商品・サービスのあらゆる面で地球環境に配慮し取り組んでいます。

持続可能な社会に向けて再生可能エネルギーの普及と環境保全活動を推進していきます。



⑧ 茨城生物の会



水戸市芸術祭自然観察会 木曾駒ヶ岳 2010年

会員約200名。年会費小学生500円、一般3,000円。一緒に郷土の自然を後世に伝える役割を果たしませんか。

昭和48年に、郷土茨城の自然を研究・調査し、自然観察会等の活動を通して楽しみながら自然への関心や理解を深め、自然環境の保全を目的として創立し、現在50周年を迎えます。

水戸市では、①芸術祭参加の県外自然観察会及び国田・常照寺の蛍観察会 ②水戸市の湧水・斜面緑地・溜池調査 ③水戸市子ども生き物クラブ結成 ④水戸市森林公園の植物・昆虫観察会 ⑤環境フェア参加 ⑥みとの自然ガイドBOOK編集など、多くの調査・観察会・啓蒙活動をしています。

⑨ NPO法人 WaterDoors



- ・千波湖桜川周辺ごみ拾い
- ・ペロタクシー(自転車タクシー)運行
- ・Eボート(10人乗りカヌー)運行

NPO法人ウォータードアーズは、世界に誇れる環境都市水戸の実現に向けて活動しております。

都市型公園として世界有数の広大な面積と歴史的価値を持つ偕楽園大規模公園を活用して、千波湖・桜川周辺のごみ拾い、桜川でのEボートによる環境教育、公園内でのペロタクシー運行などを通して環境活動を推進しております。



⑩ 一般財団法人 関東電気保安協会茨城事業本部



電気安全講習会・出前授業・各種イベントへの出店・文化財等の特別点検を無償で実施しています。

電気の使用・安全に関するPR活動は、一般財団法人関東電気保安協会茨城事業本部の重要な事業の1つです。

地域の皆さま、企業・団体の皆さまに、電気安全や電気使用合理化に関する相談・普及活動を、電気安全教室や電気出張相談所などを通じて行っております。また、福祉施設や公共施設等の電気設備の安全確保にも努めています。



⑪ キャンナス水戸



キャンナス水戸と一緒にボランティアしていただける方募集中！



キャンナス水戸は、環境問題に欠かせない健康についての活動をしています。主に、看護師その他専門職の方が登録されています。主な活動は、介護に疲れたご家族に休息をとってもらうための支援になります。介護の見守り、病院の付き添い、お悩み相談など、様々な支援を行っています。医療、介護の専門職の方だけでなく、一般の方もボランティアスタッフとして募集しています。興味がある方は、私たちと一緒に活動しませんか。



⑫ ケーズデンキ



不定期に、ご不要になった小型家電を下取りするキャンペーンを開催しております。



ケーズデンキ全店舗（FC除く）では、家電量販店初のエコマーク認定を受けています。店舗では家電製品を販売する義務として、家電リサイクル法・小型家電リサイクル法等に基づき、多くの有用資源が含まれる使用済み家電製品を適正に回収し、不法投棄の撲滅と正しいリサイクル処理の推進を行っています。当社は今後とも消費者の皆さまとのかかわりを通し、積極的な環境活動に取り組んでまいります。

⑬ 五軒女性会 消費生活グループ



いろいろな物をお安く販売しておりますので、お得な楽しい物を探しに、是非足をお運びください。

水戸リサイクルコーナーごけんは、五軒市民センター3階エレベーター正面にあり、五軒女性会の消費生活グループがボランティアで運営しています。火曜日～金曜日の9時30分～16時まで（12時～13時昼休憩）、多くの方々にご利用いただいております。

ご家庭等で使用しなくなった物を持ち込み100円単位でご自身で値段をつけていただき、2ヶ月間お預かりして展示販売しております。



⑭ 逆川子どもエコクラブ



持続可能は当たり前、SDGs達成に向けて楽しく活動しています。詳しくはHP「逆川子どもエコクラブ」で検索。

当クラブは2005年に設立され、逆川緑地のホタル再生活動や桜川流域に遡上するサケの保全、千波湖の環境改善などの活動を、大人から1歳児まで134人のメンバーで行っています。

設立当初は幼児だったユース世代の活躍が素晴らしく、ホタル再生地の除草や湿地帯の整備、森の間伐など、子どもたちの指導のほか、HPの開設、脱炭素チャレンジカップや環境サミットでの発表など、水戸の自然や市民協働による活動成果を発信しています。



⑮ しんそう世界だいすきクラブ（新荘地域子どもエコクラブ）



毎月第1土曜日
9:30～新荘市民センター
第3土曜日
9:30～保和苑
春に遠足、夏に合宿



自分たちの住む地域の自然を知り、身近な自然と親しみ、地域の環境を大切にする気持ちを育てます。また、自分もほかの生き物と共に地球を支える仲間であることへの理解を深めるよう、五感を使った体験を多く取り入れています。

活動…年間33～34回の活動は戸外と屋内
半数ずつ

市民センターの緑のカーテン設置、
センター祭り出展

春の遠足や夏合宿、冬のクリスマス会、保和苑下の池で生き物調べ、水質調査、自然観察、壁新聞作り

①⑥ 生活クラブ生活協同組合



ごみを出さない暮らし方に興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

生活クラブは30年前からごみを出さない暮らし方に取り組んでいます。今年は、生活クラブ「サステイナブル フェス！2021」の企画として、「涸沼クリーンアップ大作戦～しじみの産地を守ろう～」を7月31日に開催。ラムサール条約湿地としじみの話を生産者から聞いた後、20家族37名（子ども10名含む）が湖畔でゴミ捨ての缶や吸い殻、釣り糸などを回収しました。ごみの由来や行方について様々な発見がありました。



①⑦ 千波湖水質浄化推進協会



今年も6月に環境フェアの関連行事として100人の親子が集まり、3,000本の湿地植物を植えました。

「千波湖に発生するアオコをなんとかしたい。水質浄化と生物多様性を復活させたい。」

2011年に市内18団体が集まって当協会が設立され、「市民活動できること！」をモットーに2012年から千波湖南岸に湿地帯を再生するピオトーププロジェクトに着手。今では湖岸の10%となる300m区間にヨシ原が再生しました。



⑱ 大学女性協会茨城支部



主に水戸市内での活動が中心、例会は隔月1回。一緒に活動したい方を募集中！

私たちの団体は国際的なNGOの県組織で、主な目的は男女共同参画の推進、国際協力・貢献などです。支部では、これまでに開発教育や環境教育に関わる調査研究の中という環境問題を扱ってきましたが、SDGsという国際的な行動指針がでたことをきっかけに、数年前から環境問題への実践活動として、常陸太田産無農薬栽培の古代米やネパールの伝統的刺繍のポシェットなどをイベント等の機会がある時に販売しています。今後はエシカルの推進にも関わっていく予定です。



⑲ 学校法人 田中学園 水戸啓明高等学校



本校では、生徒会を中心にKGLA (Keimei Good Life Action) 活動を行っています。

本校では、生徒・教職員が年間を通じてペットボトルキャップを回収し、ペットボトルキャップの再資源化による環境保全や支援国へのワクチン寄付などの活動を行っています。今回は約220キロのペットボトルキャップを回収しました。また使い捨てコンタクトレンズの空ケースのリサイクル運動にも参加し、空ケースの再資源化による環境保全や障がい者の自立・就労支援および日本アイバンク協会への寄付などの活動も行っています。



⑳ つねずみ消費者友の会



毎年、市バスで移動教室を楽しんでいます。
生ごみをEMボカシで土に戻し草花や野菜を作ってみませんか。

本会は、「自主的な学習及び実践的活動を通じて地域消費者の生活の安定と向上に寄与すること」を目的として、昭和51年3月22日に発足し、以来様々な身近な問題に取り組んできました。50代から80代まで38名の会員がおります。

機軸である生ごみのリサイクル活動のもと、EMボカシ作りは、月1度行われる定例会で、情報交換しながら行い、時にはイベントに合わせて準備するというペースで現在に至っています。

㉑ 東部燃焼 株式会社



地域密着型企业!!!



私たちは総合リフォーム会社として日々お客様の問題解決に努め、SDGsを意識し、環境問題となっているCO₂削減、省エネ対策にお客様に少しでも関心を持っていただけるよう活動しています。

活動内容としては、ソーラーパネルで発電した電気を使った電気自動車での移動や、「うちエコ診断」を率先して活用し、ご家庭の生活に合った省エネ対策をご提案しています。このように、東部燃焼ではSDGsフォーラム開催など、地域の方と意識を高める機会も多く作っています。



②② 株式会社ドコモCS 茨城支店



ドコモショップでは地域の皆さまの携帯ライフをサポート。店頭スタッフがご要望に合わせてご提案します。

携帯電話には、金、銀、銅、パラジウムなどが含まれており、貴重なリサイクル資源となっています。

ドコモでは、ケータリサイクル活動として、茨城県内の各ドコモショップで無料にて携帯電話の回収を常時行っております。不要となった携帯電話がございましたら、お近くのドコモショップへご持参ください！

また、様々なイベントや施設などでもケータリサイクル活動を行ってまいりますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

②③ 那珂川水系水質保全協議会



那珂川の清流を守ろう。



那珂川水系水質保全協議会は、那珂川水系河川の水質汚濁を防止するため、関係市町村が一体となって強力な実行運動を推進し、水質保全を図ることを目的として昭和58年に発足しました。現在は水戸市・ひたちなか市・常陸大宮市・那珂市・城里町の5市町で構成され、市町に在住の水質保全協力員により、那珂川及び那珂川に流れる支川の監視を行っています。今後も、河川を見守っていきますので、どうぞよろしくお願いします。

②④ 株式会社 ニコン水戸製作所



これからも地域・社会貢献に向けた取組を積極的に行っていきます！

私たちの団体は、ニコンの製造拠点の1つであり、1991年1月に設立され、現在は300人程の従業員が働いております。当製作所は、ニコンの事業を担う一方で、環境を主とした社会貢献活動も行っております。主な取組として、周辺地域の清掃活動、レッドカップキャンペーン（発展途上国の学校給食支援）、涸沼のフォトコンテスト等が挙げられます。地域や社会に対して、感謝を込めて積極的に活動を行っております。

②⑤ 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 大洗研究所



施設の安全確保を最優先に掲げ、地域の方々との共生を図りつつ、研究開発を行ってまいります。

当研究所は、次世代炉に関する技術開発を行っており、国内はもとより国際的にも次世代炉研究の中核拠点として知られています。次世代炉は、日本が目指すエネルギーの多様性確保や温室効果ガス排出をゼロにするカーボンニュートラルの達成に向けて期待されている技術であり、当研究所では、高速実験炉「常陽」やHTTR（高温工学試験研究炉）等を活用し、国の政策のもとで高速炉や高温ガス炉などの研究開発を進めています。



②⑥ 有限会社 元クリーン



茨城県地球温暖化防止活動推進員が所属する企業として、特に子どもたちの環境教育や学習会に参加しています。

元クリーンでは、茨城県地球温暖化防止活動推進員北茨城エコフレンドを中心に、ローカルSDGsに県内初めての企業登録となり、また北茨城環境基本計画策定委員に選任されております。

また、こどもエコクラブへ登録し、子どもたちと様々な活動を行っています。その他、千波湖ビオトープ再生活動、水戸ホーリーホック試合会場や笠間工芸の丘などで、SDGsの啓発と缶バッジづくりなどを行っています。



②⑦ NPO法人 Happyリレーいろいろ



公園サポーター認定・フードバンク水戸・公園見守り子ども食堂
道路里親認定団体・水戸市スケートボード協会

NPO法人 Happyリレーいろいろの「食べて減らせるフードロスに夢がある」千波公園・少年の森で子ども食堂を開催し、水戸市わくわくプロジェクトとして「公園にハートいっぱい種を蒔こう」という活動を行っています。

青空のきもち、水戸のよさ、ひとのよさ、公園でいい人たちと出会いたい。

かわいい子どもたちと落ち葉を集め、その資源を農家さんにお届けし、お野菜のご寄付をいただき、ひろくエコパートナーを育てています。



②⑧ NPO法人 フードバンク茨城



きずなBOXに食品の寄付を
お願いします。
ボランティアも随時募集中。



食べられるのに捨てられる食品（食品ロス）を企業や家庭からご寄付いただき、それを食の支援活動につなげる活動をしています。月・水・金の10時～15時にボランティアが食品の受け入れ、仕分けなどを行っています。水戸市内では水戸市のご協力をいただいて「きずなBOX」を設置し、一般の方から食品の寄付を受け入れていますが、食品は福祉施設に差し上げたり社会福祉協議会等を通じて食に困っている人に届けられます。



②⑨ futashiba248



活動を応援してくださる
支援者を募集しています。



私たちフタシバは茨城県を拠点に夫婦で活動しています。県内の農家から農業廃棄物（廃棄される実や剪定後の木枝や葉など）を譲り受け染液の原料に活用。染液を作るところから始め、手染めした商品は全て一点ものになります。

商品のタグには全て「栗-茨城県笠間市」など産地が表記しており、商品を通して茨城県の農産物や地域を知ってもらえたらという思いで活動。定期的に水戸京成百貨店等で販売も行っています。



③⑩ 株式会社 フットボールクラブ 水戸ホーリーホック



2022年はスタジアム内のごみ箱数を前年より10%増やし、ごみ分別活動をより積極的に行うことを目指しております。

2021年にケーズデンキスタジアム水戸で開催のJリーグ公式戦イベント内で「キッズeco工作教室」をこどもエコクラブの皆様と一緒に実施しました。SDGs缶バッチを子どもたちが製作し、各日親子連れの来場者約50組にお越しいただきました。子どもたちや家族で工作活動を通じてSDGsを知る・体験する活動となりました。

2022シーズンも予定しておりますので、ぜひスタジアムで体験してみてください。



③⑪ ホタルネットワークmito



2018年6月には7haの休耕田改善に着手し、茨城県、セブン-イレブンと3者協定を結び進化しています。

ホタルネットワークmitoは、千波湖周辺の休耕田を整備し、半世紀前に広く生息していたホタルの生息地を再生する目的で、逆川こどもエコクラブ、水戸英宏中学校、常磐大学、渡里湧水群を活かす会、水戸市公園協会の5団体で2014年に設立されました。

千波湖四方の湿地帯を整備し、逆川緑地に生き延びてきたホタルの移植に成功。千波湖を囲んでホタルが生息する環境が復活しました。

③② 水戸環境テクノロジー 株式会社



施設見学のお申込み方法を当社HPに掲載しております。HPをご確認のうえ、是非見学にお越しください。

当社は水戸市清掃工場（えこみっと）の運営を行っている会社です。資源をリサイクルするリサイクルセンターや、ごみの焼却熱による発電でエネルギーを回収するごみ焼却施設を適正に運営することで、市民生活における環境負荷の低減をサポートしております。また、施設内では環境学習に関する様々な展示を行っており、小学校の社会科見学や、市民の方の見学の案内を通じて、市民の皆さまの環境啓発に取り組んでいます。



③③ 水戸市環境保全会議



会員募集中！年会費1,000円。主に広報誌等の郵送費に活用。正規会員以外の登録もあります。

私たちは、平成17年に設立以来、水戸の豊かな自然を後世に引き継ぐため、多くの市民に理解していただく活動をしてきました。現在、個人会員23名、6団体で構成され、主な活動は水戸市環境フォーラムの開催、環境教室、研修会、見学会の企画及び実施をしています。毎月第2土曜日に委員会を兼ねて懇談会を行っています。広報誌も発行しています。



③④ 水戸市消費生活センター



センター内で、フェアトレード商品やエシカル消費に関するパネル展示をしています。ぜひお立ち寄りください！

消費生活センターは、市民が健全で豊かな消費生活を送るため、消費者トラブルの相談業務、消費者の自立支援のための消費者教育や啓発を行っております。

環境フェアでは、ブース内に臨時相談窓口や啓発パネルを展示し、多くの市民に見ていただきました。

センターは、現在、一人ひとりの行動が世界を変革するため、持続可能な開発目標SDGsの達成を目指し、環境、人・社会、地域に配慮した「エシカル消費」を推進中です。



③⑤ 水戸ユネスコ協会



梅染めの活動は、環境や自然を考えたリ、水戸の魅力を発信する楽しい活動です。一緒に活動しませんか！

水戸ユネスコ協会は、平和を希求する国際連合のUNESCO(ユネスコ)の理念をもとに、地域に根差した教育文化活動・国際交流活動を実践・推進するボランティア団体です。これまで「竹と環境」をテーマにした展示とワークショップを開催してきました。加えて、一昨年度から、偕楽園の不要になった剪定枝を用いた草木染めの「梅染め」に取り組んでいます。



③⑥ 学校法人 緑丘学園（水戸英宏幼小中）



地域ボランティア団体と「ホタルネットワークmito」を形成、水戸のホタルの再生を目指す活動を行っています。

本校に隣接する雑木林を県から借り受けて整備し、ホタルが生息する里山にする活動を8年ほど前から地域のボランティアとも協力し進めています。活動当初は不法投棄物など大量のごみが埋没した荒廃地だったものが、全校生徒・職員をあげて整備に取り組み、現在は初夏にホタルが乱舞するきれいな里山へと生まれ変わっています。今後は、里山の維持管理にとどまらず、さらに拡大しホタルの生息域を広げようと計画しています。



③⑦ 株式会社 リーテム



使わなくなった廃小型家電を、まちの回収ボックスや電気屋さんで適切にリサイクルしましょう！

私たちの会社は、使わなくなった金属やプラスチックでできている廃小型家電などの製品を回収・リサイクルしています。茨城町と東京にある工場で粉々にして、新しい製品の材料に蘇らせています。

明治時代から112年続けているリサイクル経験を生かして、埋め立て処理しない仕組みを作り、これからの地球温暖化やCO₂排出量が増えることを防ぐために日々活動しています。



掲載団体一覧（50音順）

	団体名	代表者	電話番号
1	アダストリア・茨城口ボッツ		050-1745-6802
2	有限会社 アルファサービス	藤岡吉男	0297-20-8866
3	株式会社 いばらき環境改善		029-291-5553
4	一般社団法人 茨城県環境管理協会	猿田寛	029-248-7431
5	公益社団法人 茨城県水質保全協会 県央支部	繁藤洋一	
6	茨城県地球温暖化防止活動推進センター	猿田寛	029-248-7431
7	いばらきコープ生活協同組合	鶴長義二	0299-36-7266
8	茨城生物の会	小菅次男	029-221-7937
9	NPO法人 WaterDoors	和田幾久郎	029-231-8848
10	一般財団法人 関東電気保安協会茨城事業本部	高木薫	029-226-3225
11	キャンパス水戸	佐野理恵	029-350-6015
12	ケースデンキ		
13	五軒女性会 消費生活グループ	杉田真由美	029-226-4156
14	逆川こどもエコクラブ	小島幸子	090-3547-5319
15	しんそう世界だいすきクラブ(新荘地域こどもエコクラブ)	中村恵美子	029-221-8971
16	生活クラブ生活協同組合		029-291-8280
17	千波湖水質浄化推進協会	櫻場誠二	029-305-0800
18	大学女性協会 茨城支部	安藤隆子	
19	学校法人 田中学園 水戸啓明高等学校	戸塚賀久	029-241-1573
20	つねずみ消費者友の会	田山喜子	029-269-9590
21	東部燃焼 株式会社	岡田晃	029-350-8001
22	株式会社 ドコモCS 茨城支店		
23	那珂川水系水質保全協議会	加藤孝行	
24	株式会社 ニコン水戸製作所		029-240-1111
25	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 大洗研究所		029-267-2494
26	有限会社 元クリーン		0293-42-0903
27	NPO法人 Happyリレーいろいろ	鴨川あけみ	080-8022-1616
28	NPO法人 フードバンク茨城		029-297-1477
29	futashiba248	関将史	050-5372-2803
30	株式会社 フットボールクラブ 水戸ホーリーホック		029-212-7700
31	ホテルネットワークmito	伊藤三男	090-3147-3445
32	水戸環境テクノロジー 株式会社		029-350-4431
33	水戸市環境保全会議	高橋正道	029-252-7205
34	水戸市消費生活センター	田山知賀子	029-226-4194
35	水戸ユネスコ協会	林和男	029-241-7803
36	学校法人 緑丘学園 (水戸英宏幼小中)		029-243-0840
37	株式会社 リーテム		029-292-1220

メールアドレス	ホームページ
s.tateishi@ibarakirobots.com	https://www.ibarakirobots.win/
hiiro_0323@yahoo.co.jp	http://www.arufaservice.co.jp
xxx100kgxxx@gmail.com	http://mizu-kirei.com
ibaonse@kankyokanri.or.jp	http://www.kankyokanri.or.jp/emai_senbako.html
	http://www.e-mizu-ibaraki.jp/
ibaonse@kankyokanri.or.jp	http://www.kankyokanri.or.jp/cei/index.htm
ibaraki_coop@coopdeli.coop	https://ibaraki.coopnet.or.jp/
tsugiok320@yahoo.co.jp	
info@waterdoors.or.jp	http://www.waterdoors.or.jp/
mitsuo-suzuki@kdh.or.jp	https://www.kdh.or.jp
kimi.furin.kango@gmail.com	http://www.furin-kango.com/
	https://www.ksdenki.co.jp/kshd/
sachi-koo310@kcd.biglobe.ne.jp	http://sakasagawaeco.blogspot.com/
emiko-n@h6.dion.ne.jp	
shousuke.miyazaki@s-club.coop	https://ibaraki.seikatsuclub.coop
sakuraba@nifty.com	
qqyq8qg9k@diary.ocn.ne.jp	https://www.jauw.org/works_category/ibaraki/
totsuka@mito-keimei.ed.jp	http://www.mito-keimei.ed.jp
tobu-nensyou@plaza-akatsuka.jp	https://www.plaza-akatsuka.jp
choumin@town.shirosato.lg.jp	
	https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/
iwai@hajimeclean.co.jp	https://hajime-clean.com/
kamo.hiro.161616@icloud.com	http://happy-relay.com/news/2018/03/670
fb.ibaraki@gmail.com	https://sites.google.com/site/fbibaraki/
seki@futashiba248.com	https://linktr.ee/futashiba248
ichihara@mito-hollyhock.net	https://www.mito-hollyhock.net/
farm.morikyuu@feel.ocn.ne.jp	
	https://mito.ekankyo21.com/
takahashi@aoyagi-kk.co.jp	
m-syoni@minos.ocn.ne.jp	https://www.mitosyohi.com/
idztenwfox@yahoo.co.jp	https://mtunesco.webnode.jp/
info@mito-eiko.ed.jp	http://www.mito-eiko.ed.jp/top.html
info@re-tem.com	https://www.re-tem.com/

水戸市の取組

環境保全課



毎年11月上旬に、サケが遡上しやすい河川環境づくりの一環として、市民・団体・事業者及び行政機関の協働で「桜川水系クリーン作戦」を実施し、桜川及びその支川である逆川を清掃しています。皆様のご協力のもと、たくさんのペットボトルや空き缶、粗大ごみなどが回収されています。

また、家庭で省エネ・節電等に取り組み、CO₂排出量を削減する「エコライフチャレンジ」を実施し、市民に対して省エネの意識啓発を行っております。

ごみ減量課



5月30日は「ごみゼロの日」です。令和3年度は、市役所内にパネルなどを展示した啓発スペースを設置し、ごみの減量、資源の有効活用などを呼びかけました。

また、10月は「食品ロス削減月間」です。会食時の食べ残しを減らすため、開始後30分間と終了前10分間は料理を楽しむことを呼びかける「30・10運動」や「みと食べきり運動協力店」登録事業の実施、食品受取箱「きずなBOX」の設置などを推進することで、食品ロス削減に取り組んでいます。

市民生活課

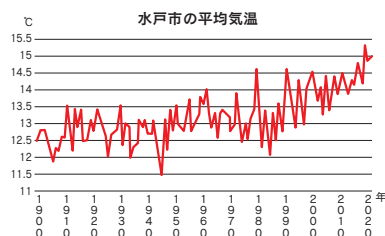


毎年5月は消費者月間です。昨年度(令和2年度)のテーマは、「豊かな未来へ～『もったいない』から始めよう!～」でした。水戸市消費生活センター・水戸市では、倹約家だった徳川斉昭公が食事のたびに少量のご飯をそなえ、農民の苦勞に感謝するために作らせた「農人形」の複製品のほか、『MOTTAINAI』を世界に向けて提唱した故ワングリ・マータイ氏(ノーベル平和賞受賞者)の紹介などを展示し、もったいない精神や暮らしの中の工夫を学ぶ機会となりました。

～わたし、あなた、みとが変わる取組について～

「はじめに」に記載したように、このガイドブックのテーマは、「わたしは変わる、あなたも変わる、みとが変わる。」です。私たちの日々の小さな活動の積み重ねによって、みとが変わります。市民一人ひとりが「今日からできること」をまとめてみました。ぜひ、今日から取り組んでみましょう。

ストップ温暖化！



水戸市の平均気温は1900年から120年間で約2.5℃上昇しています。地球温暖化の大きな原因は二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスです。車の運転やエアコンの使用など、人間の様々な活動の中で温室効果ガスは発生します。

地球温暖化により、海面の上昇や生態系の変化が予測されており、水戸市でもサケの遡上数の減少など様々な影響が懸念されています。

エコのコツ

- ・「電気のつけっぱなし」などの「ばなし」をしない。
- ・暖房は低めに、冷房は高めに温度設定する。
- ・短い距離の移動はなるべく自動車を使わない。
- ・家電等を買替える際は、省エネ型のものにする。

3Rを実践しよう！

水戸市では、令和2年度の1年間に97,527トンのごみが発生しました。

市民の皆様の分別意識の高揚により、ごみの量は減少傾向にありますが、更なるごみの減量化、再資源化を進める必要があります。

水戸市では、ごみの減量化、再資源化のため、「3R」の推進に取り組んでいます。Reduce（リデュース=発生抑制）、Reuse（リユース=再使用）、Recycle（リサイクル=再資源化）を意識して、生活の中で実践しましょう。

3R

- ・ 買い物の際は、「必要な分だけ」買う（Reduce）
- ・ 使用済み製品の回収に協力する（Reuse）
- ・ 資源物の分別回収に協力する（Recycle）



エシカル消費を始めよう！

「エシカル」とは「倫理的・道徳的」という意味で、「エシカル消費」とは、人や社会、環境に配慮したものやサービスを選んで消費することです。何かを買うという行動は、つくった人や企業に利益を与え、その継続・発展に繋がります。次のようなことを意識した消費は、社会を変える力になります。

エシカル

- ・ 買物をするときはその生産地や生産国をチェックする。
- ・ 安さだけでなく長く使えるかどうかを重要視する。
- ・ 積極的に地元で買い物をして、できるだけ地元の産品を買う。
- ・ エシカルな認証やマークがついた商品やサービスを手に取ってみる。

環境フェア2019の様子です



『劇団シンデレラ』と
『逆川こどもエコクラブ』による
ステージショー



自転車で環境フェアに行こう



みとちゃん
ダンス



パネル展示、ワークショップ、エコカー・パッカー車の展示、ペロタクシーの試乗、商品の販売等各団体が趣向を凝らしたブースを出展し、来場者に環境に関して学べる場を提供しました。会場内は、多くの来場者で賑わいました。

水戸市環境

くらしからはじめる



地球温暖化意識啓発アニメ
「ガラスの地球を救え！」上映



集団資源物回収優良団体・
環境保全活動優良団体感謝状贈呈式



新清掃工場愛称受賞者
表彰式



特定外来生物

オオキンケイギクを駆除しよう

日本の在来生物に悪影響を与える
特定外来生物について学習し、水
戸市でも繁殖が目立つ「オオキン
ケイギク」を駆除しました。

フェア 2019

エコシティみと



らくがきバス



関連事業

一般社団法人茨城県環境管理協会と水戸市が主催する、「千波湖環境学習会」を関連事業として実施しました。



こどもムシムシ探検隊

子どもたちは、プレゼントの虫取り
網と虫かごをもって、身近な昆虫に
ついて体験しながら学習しました。



「ビオトープ」を作ろう

千波湖の水質改善を目指し、ビオトープ
の整備を行いました。

「ホタル」を観察しよう

クイズ形式でホタルの生態について
学習した後、西の谷公園でホタルの
観察を行いました。



問い合わせ先

水戸市環境フェア実行委員会事務局

(水戸市環境保全課内)

水戸市中央1-4-1

TEL.029-232-9154

web版はコチラ→

